

令和4年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	財務会計演習 I		担当教員	白山 真一		
	英語授業科目名	Financial accounting seminar I		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1 年次	クラス指定	なし	他との関連	財務会計特論 A, B		
履修条件	財務会計演習 A, B を同時に履修すること。						
テーマ・副題	会計理論・制度・実務の現状分析, 課題抽出, 対応の方向性の提示						
授業の教育目的・目標	この授業は, 2年次に履修する「財務会計演習 II」における修士論文のテーマを見出すことを教育目標とする。						
授業の理解度の到達目標	2年次に履修する「財務会計演習 II」につなげるため, ①学術的な修士論文の書き方の習得②修士論文のテーマ(問題意識, 関連する先行研究サーベイなどを含む)を決定することが授業の達成目標となる。						
授業キーワード	国際財務報告基準(IFRS), 国際公会計基準(IPSAS), 企業会計基準, 政府・非営利会計基準 等						
授業の内容	企業会計の制度研究, 理論・概念研究, 実証研究など, 各自の研究論文テーマを決定するための幅広い検討に対応した授業内容とする。なお, 研究テーマは企業会計に限定せず, 政府会計, 地方自治体会計, 非営利会計などの領域を選択してもよい。						
授業の方法	前期は, 各種の会計論文の事例研究をしたうえで, 指定研究論文(2本)及び指定図書(2冊)の要約発表と討議を中心に, 授業を進めていく。 後期は, 各自の修士論文のテーマの絞り込みや構想についての発表と討議を中心に, 授業を進めていく。						
授業展開	<p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 会計論文事例研究(制度研究)</li> <li>3. 会計論文事例研究(理論・概念研究)</li> <li>4. 会計論文事例研究(実証研究)</li> <li>5. 指定研究論文の要約レポート発表と討議①-1</li> <li>6. 指定研究論文の要約レポート発表と討議①-2</li> <li>7. 指定研究論文の要約レポート発表と討議②-1</li> <li>8. 指定研究論文の要約レポート発表と討議②-2</li> <li>9. 指定図書の要約レポートの発表と討議①-1</li> <li>10. 指定図書の要約レポートの発表と討議①-2</li> <li>11. 指定図書の要約レポートの発表と討議①-3</li> <li>12. 指定図書の要約レポートの発表と討議②-1</li> <li>13. 指定図書の要約レポートの発表と討議②-2</li> <li>14. 指定図書の要約レポートの発表と討議②-3</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol> <p>[後期]</p> <p>各回とも修士論文のテーマの絞り込みを想定した「会計に関連する研究論文構想の発表と討議」を繰り返し行い, 論文の構想を深めていくことを行う。各回の課題は各自の進捗状況に応じて柔軟に対応する。</p>						
成績評価方法	課題への取り組み方(50%)を中心に, 授業での発表や討論の状況(50%)などを総合して評価する。なお, 出席状況が60%未満である場合には, 成績評価が不合格になる場合がある。						
成績評価基準	成績は総合点で80点以上をA, 79~70点がB, 69~60点がC, それ以下をDとする。						
テキスト	なし						
参考図書	「企業会計」「会計・監査ジャーナル」「経営財務」「税経通信」「会計」などの会計専門紙, 関連図書 明石芳彦著「社会科学系論文の書き方」(ミネルヴァ書房, 2019年)						
準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各自の発表に際し, ①発表内容のレジュメ作成②発表のプレゼンテーションの準備を十分にしておくこと(最低でも3時間程度)</li> <li>● 「レポートの発表と討議(前期)」「研究論文構想の発表と討議(後期)」の際には, 「問題意識」を明確にしたうえで, 全体を俯瞰するような報告を心掛けること</li> </ul>						

の具体的な 学習内容				
学生への メッセージ	この講義を通じて、修士論文のテーマ（問題意識、論点など）を早めに決定するように心掛けてください。また、担当講師と積極的に意見交換をするようにしてください。			
オフィスワ	主に以下に示したメールにより質問等を受け付けることにする。			
連絡先	電話番号	0274-42-2828（内線：407）	メールアドレス:	shirayama@jobu.ac.jp
人数制限	特に定めない。			